

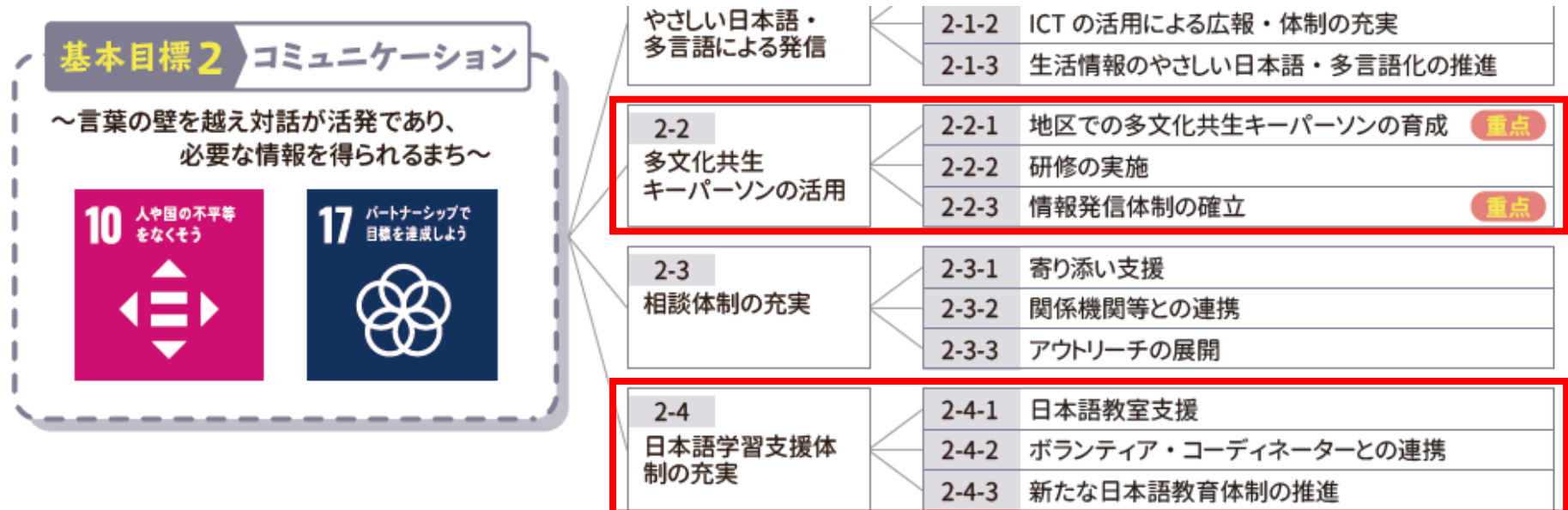
令和5年度 「地域日本語教育推進事業」



◎ 趣旨・目的

- 1 外国人住民の日本語学習の機会を確保し、生活に必要な日本語能力の向上を図り、キーパーソンとしての活躍に繋げる。
- 2 日本語学習を通じた日本人・外国人相互の交流により、市民の多文化共生意識の向上を図る。
- 3 松本市の特徴を踏まえた地域日本語教育推進体制を構築する。

第3次松本市多文化共生推進プラン体系図





◎ 内容(1)

オンライン日本語教室 の設置



国・県が示すモデル教室の形にならない、日本語教師が教え、日本語交流員が学習をサポートする形の教室を設置する。

松本市地域日本語教育 コーディネーターの設置



オンライン教室のカリキュラム作成・教室活動についての検討や、他の日本語教室・関係課等、教室内外の連携を行うコーディネーターを設置する。



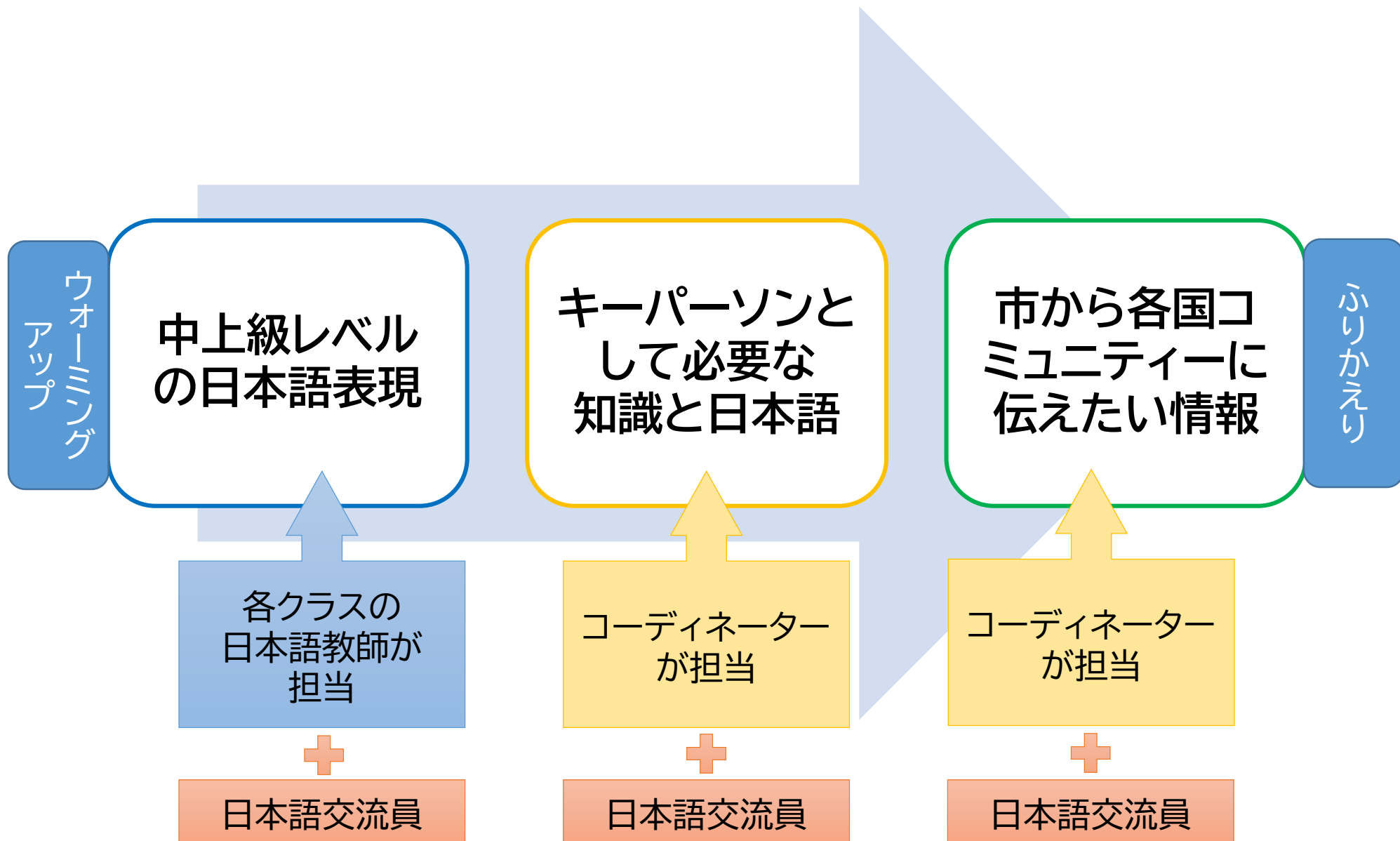
◎ 内容(2)

オンライン教室の概要	中級クラス(無料:定員15名)	上級クラス(無料:定員15名)
受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>中級レベル</u> ・外国人市民(18歳以上) ・在留資格不問 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>上級レベル</u> ・外国人市民(18歳以上) ・在留資格不問
開講時間	1回90分×10回	1回90分×10回
受講方法	Zoom	Zoom
教材	コーディネーター・教師が作成するオリジナル教材	コーディネーター・教師が作成するオリジナル教材
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習 ・生活、行政情報の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習 ・生活、行政情報の学習

役割	役割分担
コーディネーター	オンライン教室のカリキュラム作成・教室活動について検討、関係機関との連携
日本語教師	カリキュラムを踏まえた日本語教育の実施、教室の運営
日本語交流員	日本語学習を通じた交流、日本語習得・地域参加のサポート



◎ 授業の流れ(1回90分・各クラス共通)





◎ 「キーパーソンとして必要な知識と日本語」の内容

- 参加者のレベルに応じ、全10回分の教材を作成

	中級	上級
1	お互いのことを知ろう	AIについて
2	家族や人の性格について話そう	世代別の特徴について
3	趣味について話そう	環境問題について
4	食事について話そう	動物カフェについて
5	料理について話そう	AIと仕事について
6	旅行について話そう①	日本文化について
7	旅行について話そう②	少子高齢化について
8	年中行事について話そう	ジェンダーギャップについて
9	災害について話そう	日本社会への外国人の受入について
10	環境と将来の夢について話そう	プレゼンテーション



◎ 実施結果(参加者数)

	中級クラス	上級クラス
実施スケジュール	10/2~12/11(10回) 毎週月曜日20:00~21:30	10/5~12/14(10回) 毎週木曜日20:00~21:30
受講者数	<u>延べ 58人</u> (平均5.8人/回)	<u>延べ101人</u> (平均10.1人/回)
受講者数(実数)	<u>15人</u>	<u>17人</u>
日本語交流員数	<u>延べ30人</u> (平均3人/回)	<u>延べ30人</u> (平均3人/回)
日本語交流員数(実数)	<u>9人</u>	

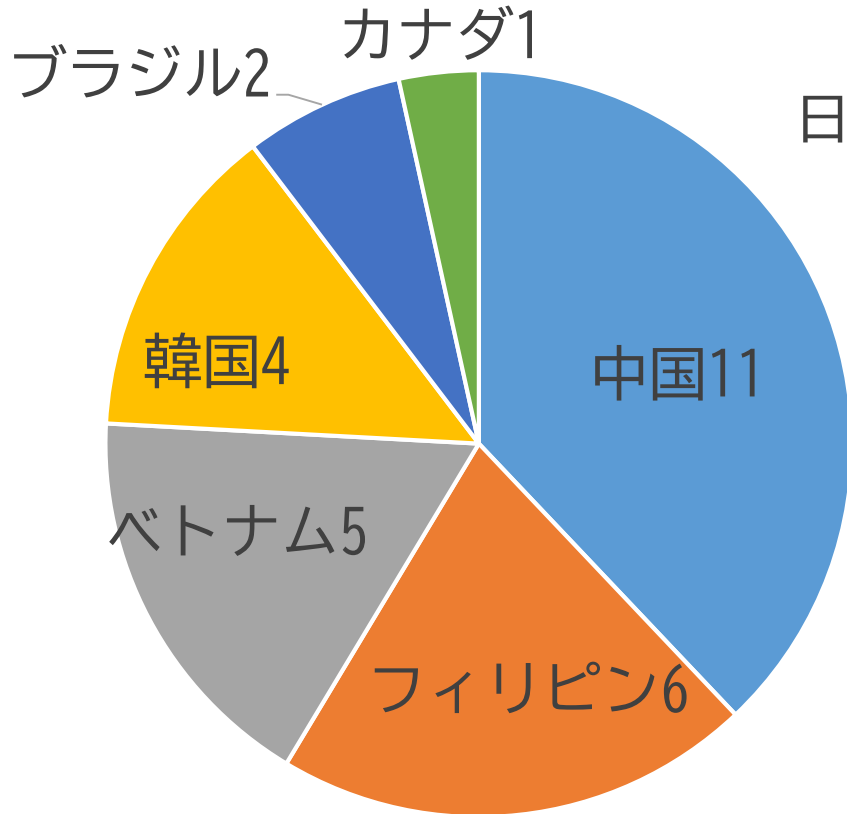
新たなキーパーソン登録者数

- ・外国人住民5人+日本人1人=計6人

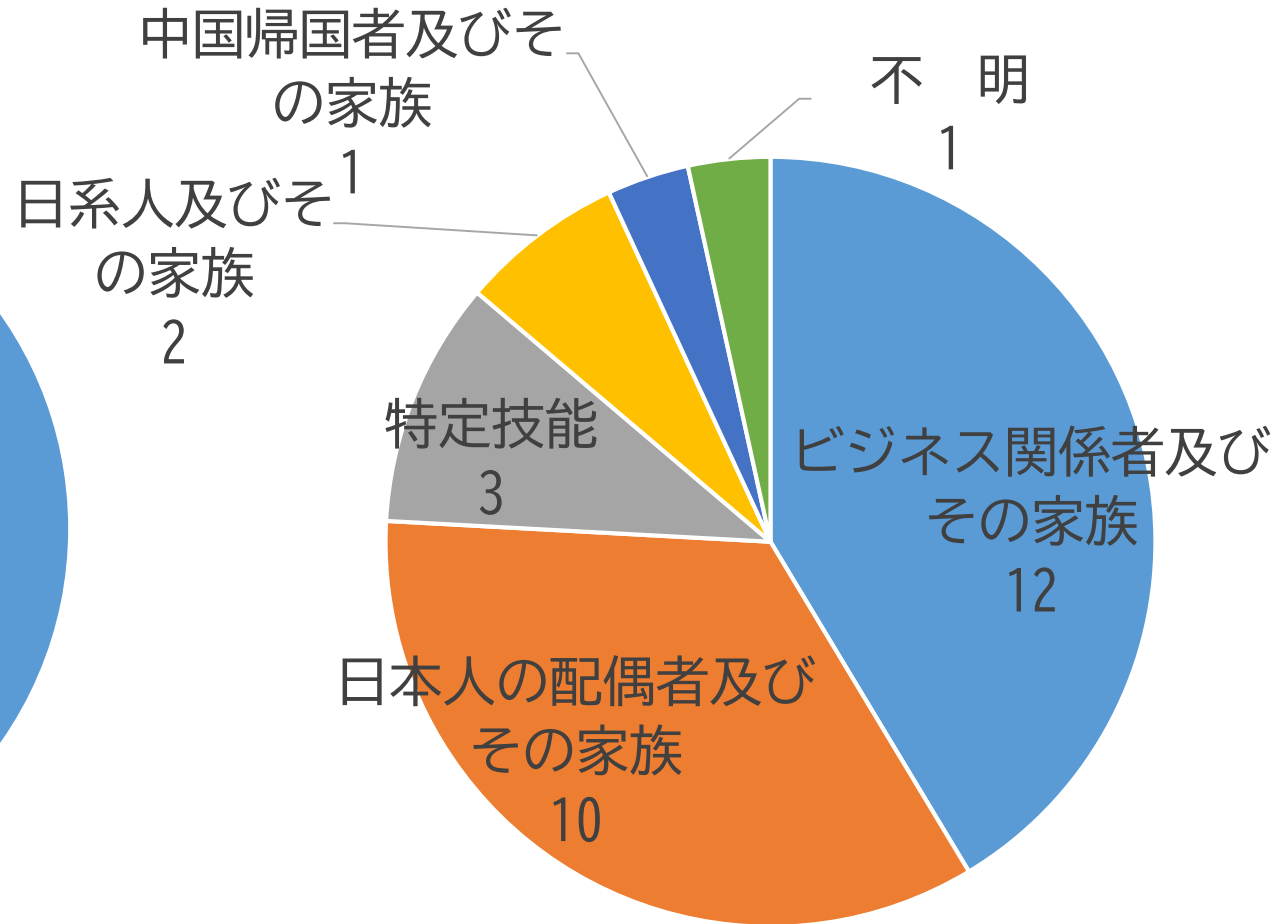


◎ 受講者の属性

国・地域別



属性別



※受講者は、中級と上級合わせ「32人」
上級受講者のうち3人は中級も受講。



◎ 受講者へのアンケート結果(1)

○この教室で勉強して日本語が前より上手になりましたか。

	人数	割合
とても上手になった	3	21.4%
少し上手になった	9	64.3%
変わらなかった	2	14.3%
合計	14	100.0%

○この教室で勉強する前よりも日本語を使ってスムーズに生活ができるようになりましたか。

	人数	割合
できるようになった	4	28.6%
少しできるようになった	8	57.1%
変わらない	2	14.3%
合計	14	100.0%



◎ 受講者へのアンケート結果(2)

○この教室で勉強したことで生活がどのように変わりましたか。(複数回答)

	人数	割合
住んでいる地域の人とのコミュニケーションが増えた	5	35.7%
生活で不自由することが少なくなった	4	28.6%
生活で不安に思うことが少なくなった	6	42.9%
ゴミ出しなどの住んでいる地域のルールでわかることが増えた	8	57.1%
自分が住む地域について知りたいことが増えた	9	64.3%
日本の文化・習慣でわかることが増えた	10	71.4%
地域のイベント・行事への参加が増えた	6	42.9%
日本人の知り合いや相談できる人が増えた	5	35.7%
生活に必要な情報を集めることが増えた	9	64.3%
今までより日本語のことがわかるようになった	1	7.1%



◎ 受講者へのアンケート結果(3)

○このオンライン教室をまた受けていたいですか。

	人数	割合
受けてたい	11	78.6%
どちらからといえは受けてたい	3	21.4%
どちらかといえは受けたくない	0	0.0%
受けたくない	0	0.0%
合計	14	100.0%

(理由)

- いろんな方と話すことでいい刺激を受けられる。
- 普段の生活で触れる機会の少ない話題について知ることができる。
- 日本語と日本の文化をもっと勉強して、子どもと一緒に成長したい。
- 知識も大事ですが、つながりも大切。
- 昼間は忙しくて勉強する余裕がないが、夜ZOOMの授業だから助かった。
- 日本語が上手になりたい。



◎ 課題・来年度に向けて

日本語交流員

- ・今年度は昨年度と異なり、1カ月単位で、ある程度固定したメンバー構成で実施した。その結果、受講者との信頼関係も築くことができたと感じる。来年度も裾野は広げつつ、交流員の人数は今年度と同程度にとどめたい。

クラス分け

- ・上級クラスとのバランスを考え、中級クラスで扱う内容のレベルをもう少し上げたい。それにより、中級クラスの受講者数を増やしていきたい。

生活日本語の内容

- ・昨年度の反省を踏まえ、今年度は市からのLINEで発信されている内容などを扱った。来年度は受講者が決定した時点で受講者が何について興味関心を持っているかなどアンケートを取って内容を決めたい。